

福岡女子大学生協 生協委員会の再生



【組織運営】

取り組み概要

日時：2021年5月～
場所：対面
参加者数や組合員の反応：代替わり後初めて委員の活動として12月に行った店舗の装飾に、一年生が10名参加した。

背景や概要：コロナの影響もあって生協委員の学生の数が減り、日常期の活動が停止したことを受け、新旧三役と店長が中心になって再生に取り組んだ。

委員会を、「したい」ができる楽しい場に

POINT.1

三役選出方法の見直し—本人の意欲を重視



委員長一名と副委員長二名（以下、三役）の選出時、当時の三役が二年生と面談を行いました。生協委員の役割や立ち位置について話し、三役への意欲を問うアンケートを行いました。その結果それまでほぼ面識のなかった三人が選出されましたが、**事前の面談によって意識の方向性を同じくしてスタートできました**。また、留学生の委員長就任は前例のないことでしたが、本人の意欲と周囲の協力によって何ら歴代の委員長に引けを取らない活動をしています。

POINT.2

現三役・先輩・店長の連携

現在の三役と店長は毎週話し合いを行っています。店長は「委員の活動を楽しんでほしい。やりたいことは何でもサポートするからいつでも提案してきてほしい」と頻りに話してきました。また、コロナ前の通常期の活動や対面企画を経験している旧三役が、必要に応じてアイデアやアドバイスを提供しています。こうした綿密な関係性ができたことによって、**現三役がやりたいと思うことをすぐに共有して実行に移せる環境**が実現しました。



POINT.3

誰でも参加しやすい企画からスタート



代替わり後初めての通常期の活動として、クリスマス時期の店舗の装飾を行いました。直前の呼びかけだったにも関わらず、10名の一年生が集まりました。企画の背景に三役の「**まずは自分たちが楽しんで、かつ誰でも気軽に参加できるものを**」「**生協委員が楽しく活動できる場であることを知ってもらおう**」という思いがあったからこそ、多くの委員を集めることができました。このような参加しやすく楽しい企画をコンスタントに行って委員の定着を図り、徐々に部会などの復活も目指していく展望です。